

5.図書館評価指標および目標値

令和3年度結果と令和4年度目標値

基本データ

評価項目	1.図書館職員の研修受講		
内容	図書館関連の研修への職員参加を別表のとおりポイント化し、目標値以上のポイントになるように努力することで、職員のレベルアップにつながることを目的とする。直営で運営されている図書館では職員のレベルアップがサービス向上に直結する。研修の参加だけでなく、外部講師経験や認定資格保持者、休日を利用した自主的な学習に対してもポイントが認められる。		
令和3年度の 結果	目標値を大きく上回ることができた。 ZOOMやオンラインによる研修が多かったため、想定以上に参加することができた。また、国立教育政策研究所が主催する10日間連続の図書館司書専門講座を受講できた職員がおり、専門性向上に資することができた。		
令和4年度の 算出根拠	新型コロナウイルス感染症の拡大状況がいまだ不確定であるが、ウィズコロナにシフトし始めていることを考慮し、前年度実績から長期研修の伸びしろを引いたものを、目標値とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	年間30ポイント (正職員9人)	年間30ポイント (正職員11人)	年間48ポイント (正職員11人)
実績値	年間30ポイント (正職員9人)	年間68.5ポイント (正職員11人)	

評価項目	2 人口1人当たり貸出冊数		
内容	図書館全体の利用状況を評価するために最も一般的に用いられる指標は貸出冊数であるが、人口当たりへ換算することで利用の活発な他の自治体と比較することが可能になる。		
令和3年度の 結果	目標を達成できた。 貸出数406,369冊÷人口(4/1現在)78,496人=5.18冊。 引き続き目標達成に努力していきたい。		
令和4年度の 算出根拠	コロナ禍の下、今年度も目的達成のために何が出来るかを念頭に置きながら、前年度実績値と同程度とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	3.32冊	5.00冊	5.20冊
実績値	4.03冊	5.18冊	

評価項目	3 有効登録者数		
内容	有効登録者数は、登録者のうち1年間に利用のあった人数。実際に利用を行っている利用者数を把握することが出来る。		
令和3年度の 結果	目標値を約1割下回り、目標を達成できなかった。 新たな利用者の開拓など利用者数を増加させる対策が必要である。		
令和4年度の 算出根拠	利用者増加策を講じ、引き続き令和元年度の実績値に近い値まで戻す事を目標とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	—	11,800人	11,800人
実績値	10,143人	10,630人	

評価項目	4 開架の貸出可能資料の蔵書回転数		
内容	各図書館の開架に置かれている資料が年間どのくらい借りられているかを表す指標。開架の貸出可能資料の蔵書回転数は、年間貸出延べ冊数÷開架の資料数で求める。		
令和3年度の結果	市立図書館、こども図書館とも目標を達成できた。 市立図書館 貸出数264,685冊÷開架資料数101,378冊＝2.6 こども図書館 貸出数118,875冊÷開架資料数34,605冊＝3.4 引き続き目標達成に努力していきたい。		
令和4年度の算出根拠	前年度目標値と同程度の数値とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	市立図書館 2.1 こども図書館 2.1	市立図書館 2.6 こども図書館 3.4	市立図書館 2.6 こども図書館 3.5
実績値	市立図書館 2.1 こども図書館 2.7	市立図書館 2.6 こども図書館 3.4	

評価項目	5 開架蔵書新鮮度		
内容	各図書館の開架に置かれている資料が年間どのくらいの割合で入れ替えられるのかを示す指標。各館年間受入冊数÷開架の資料数で求めることができる。「4開架の貸出可能資料の蔵書回転数」と合わせて比較することで蔵書の新鮮度と回転率との相関を把握できるのが利点。一定以上の新鮮度を保ち続けることを目指す。		
令和3年度の結果	市立図書館は目標を達成できたが、こども図書館は達成できなかった。 市立図書館 受入数4,598冊÷開架資料数101,378冊＝4.5% こども図書館 受入数1,820冊÷開架資料数34,605冊＝5.3% こども図書館での受入数が例年に比べ少なかったのが要因である。		
令和4年度の算出根拠	前年度目標値と同数値とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	市立図書館 4.4% こども図書館 6.0%	市立図書館 4.4% こども図書館 6.0%	市立図書館 4.4% こども図書館 6.0%
実績値	市立図書館 4.5% こども図書館 6.3%	市立図書館 4.5% こども図書館 5.3%	

基本方針Ⅰ 安心・安全で充実した読書環境の提供

評価項目	6 ホームページの調査関係ページ閲覧件数		
内容	飯能市立図書館ホームページ内で調査等に使用される「地域情報関連索引」及び「調べもの」の閲覧回数の合計を指標とする。非来館サービスの1つとしてインターネットによる情報提供の利用状況がわかる。		
令和3年度の結果	目標を達成できた。今後、調査関係ページを閲覧しやすいようにするなどの改良を行い、引き続き目標達成に努力していきたい。		
令和4年度の算出根拠	前年度目標値と同程度の数値とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	—	2,800件	2,800件
実績値	2,730件	3,246件	

評価項目	7 地域・郷土行政資料受入冊数		
内容	郷土行政資料は市販されていないものが多いため、図書館側で一方的に受入を増やすことは難しい。しかし毎年目標値以上の郷土行政資料を受け入れることは、地域情報の収集に力を入れている証明になり、長期にわたり継続して一定数の資料を受け入れることで貴重な郷土資料コレクションが構築される。		
令和3年度の結果	目標を達成できた。 引き続き目標達成に努力していきたい。		
令和4年度の算出根拠	今まで未登録だった資料についてはほぼ登録が終わったため、今後については1年間に発行される郷土行政資料の推定冊数として昨年度目標値と同程度とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	230冊	250冊	250冊
実績値	539冊	267冊	

評価項目	8 行政刊行物の収集率		
内容	飯能市の行政資料の収集について確実な収集が行えているかを評価する。博物館と図書館合同で毎年各課に照会して集計した行政刊行物データをもとに、前年度に刊行された行政刊行物のうち、どのくらいの割合を収集できたかを評価する。		
令和3年度の 結果	目標を達成できた。行政刊行物データには86件掲載されていたが、うち、1件は誤記入、1件はデジタル版であったため対象から除外した。対象の84件のうち、未収集のものが21件あったため担当課に確認し、すべて収集、登録できた。 引き続き目標達成に努力していきたい。		
令和4年度の 算出根拠	飯能市が刊行した行政刊行物については、当館でそのすべてを収集する必要があることから、100%を目標とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	—	100%	100%
実績値	—	100%	

基本方針Ⅱ 課題解決型支援サービスの充実

評価項目	9 レファレンス受付件数		
内容	課題解決型図書館として機能しているかを「業務量」の観点から評価する指標。 レファレンスには一般的な質問のほか、所蔵調査・読書相談を含むが単純な資料リクエストや館内施設・利用案内は含まない。		
令和3年度の 結果	目標を達成できた。 引き続き目標達成に努力していきたい。		
令和4年度の 算出根拠	前年度の実績値と同程度の数値とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	市立図書館・こども図書館合計 年間1,680件	市立図書館・こども図書館合計 年間1,680件	市立図書館・こども図書館合計 年間2,000件
実績値	年間合計 1,540件 (市立図書館 1,205件 こども図書館 335件)	年間合計2,073件 (市立図書館 1,211件 こども図書館 862件)	

評価項目	10 レファレンスの掲載件数		
内容	課題解決型図書館として、図書館サービスの「質」を維持・向上させるための指標。 レファレンスの回答経緯を記録して国立国会図書館のレファレンス共同データベースへ掲載した件数。図書館のホームページからもアクセスできる。 今後のレファレンスツールとして活用できるだけでなく、レファレンスについて外部から閲覧できるようにすることで利用者自身による課題解決の促進を行うため指標とする。		
令和3年度の 結果	目標を達成できた。 上半期は1件も掲載できない状態であったが、下半期に重点的に取り組んだ結果、何とか目標に到達できた。		
令和4年度の 算出根拠	前年度目標値と同数値とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	—	20件	20件
実績値	15件	20件	

評価項目	11 他機関・市役所他部署との連携事業数		
内容	飯能市立図書館内に留まらず、市民への情報提供のため他機関・市役所他部署との連携は重要である。そのための連携事業数を指標とする。		
令和3年度の 結果	目標を達成できた。 他機関・他課と連携した事業として、展示を14回、映画会を3回のほか、講座を3回実施した。鳥獣被害対策室と共催展示を今年初めて実施できた。 引き続き多くの機関と連携できるように努力したい。		
令和4年度の 算出根拠	前年度は新たに依頼のあった単発連携をすべて受けたことにより高い実績値となったが、今年度も引き続き新規の連携に取り組む事を目標とし、昨年度目標値の2割増の数値とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	-	10件	12件
実績値	8件	20件	

基本方針Ⅲ 市民との協働による図書館運営の推進

評価項目	12 ボランティア活動実績		
内容	ボランティアの活動について活動量を把握し、どのくらい図書館へ興味を持ち協力してくれているか調査する。一日で複数の作業の場合まとめて1カウント。数日数にわたる場合は日ごとに1カウントとし、延べ人数とする。		
令和3年度の 結果	目標を達成できた。 市立図書館では、友の会に今年度新たに15人が加わり、全体で47人となったことに伴い、活動数が急増した。こども図書館では、おはなし会などを再開したが、まだ、通常の活動には戻っていない。引き続き、コロナ禍での活動のあり方を模索していきたい。		
令和4年度の 算出根拠	令和3年度実績とほぼ同数とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	-	合計1,000人	合計1,800人
実績値	合計 799人 市立図書館 740人 こども図書館 59人	合計1,807人 市立図書館 1,532人 こども図書館 275人	

基本方針Ⅳ 生涯にわたる読書活動の推進

評価項目	13 12歳以下の子ども1人当たりの貸出数		
内容	子どもの貸出数を調査するに当たり、人口当たりに換算することで利用の活発な他の自治体と比較することが可能になる。市内の12歳以下の利用者貸出数合計÷市内12歳以下の人口で求める。		
令和3年度の 結果	目標を達成できた。市内の12歳以下の利用者貸出数109,524冊÷市内12歳以下の人口7,057人＝15.5冊。引き続き目標達成に努力していきたい。		
令和4年度の 算出根拠	令和3年度実績とほぼ同数とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	-	13冊	16冊
実績値	11.6冊	15.5冊	

評価項目	14 高齢者施設への団体貸出数		
内容	年間の高齢者施設への貸し出し合計を指標とする。高齢者の中でも来館の難しい利用者への貸出数を調査する指標とする。		
令和3年度の 結果	今年度から高齢者施設が1館加わったこともあり、目標を達成できた。 引き続き目標達成に努力していきたい。		
令和4年度の 算出根拠	新型コロナウイルス感染症の拡大状況が読めない中で高齢者施設も多くの制限の中での利用を余儀なくされているため、前年度実績値と同程度とする。		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	-	1,000冊	1,100冊
実績値	884冊	1,189冊	